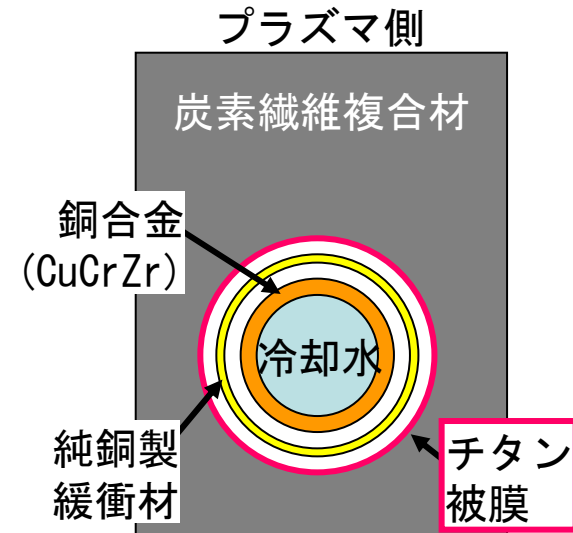
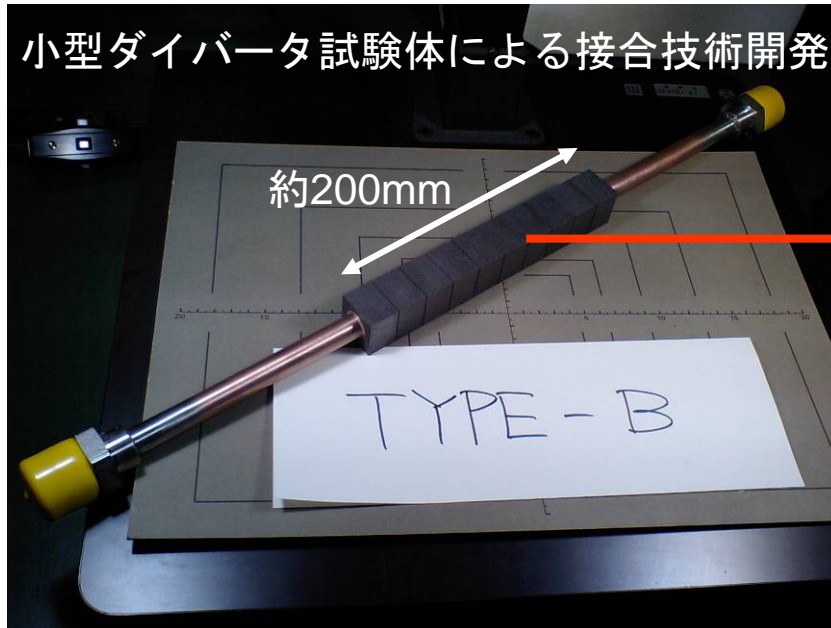


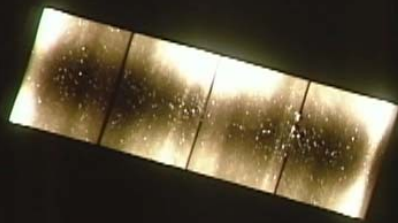
性能評価試験用ダイバータ試験体 に向けた研究開発

小型ダイバータ試験体による接合技術開発



炭素繊維複合材の接合面をチタンで金属化。
炭素繊維複合材と純銅の組合せ寸法精度を
 $\pm 5 \mu\text{m}$ に制御して接合不良を克服。

電子ビームによる高熱負荷試験の様子



中央部の4枚のタイルが加熱されている

小型ダイバータ試験体においてチタン被膜の成分や塗布後の熱処理温度等の調査を実施すると共に、原子力機構の加熱試験装置にて高熱負荷試験を実施して耐久性を確認。得られた条件をもとに性能評価用ダイバータ試験体の製作を実施。